

登録コード	L1063200	開講年度	2026	
担当教員	藤野 義和	副担当		
授業科目	経済学Ⅱ			
英文授業名	Economics Ⅱ			
授業タイトル	経営学入門			
単位数	2	対象学生		講義期間
講義室	経法第2講義室	遠隔授業科目		前期
				曜日・時限
				木曜・3時限
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		⇔	【授業の達成目標】
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ			
	【2022年度以前カリ対象】変容する社会を冷静に分析し、時流に迎合することなく価値判断できる批判力		⇔	経済学または法学が積み上げてきた知識と思考に基づく判断を基礎力として身につけ、それを発揮できる力を身につけることができる。
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ			
	【2023年度以降カリ対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】		⇔	経済学または法学が積み上げてきた知識と思考に基づく判断を基礎力として身につけ、それを発揮できる力を身につけることができる。
	【2023年度以降カリ対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】		⇔	経済学または法学が積み上げてきた知識と思考に基づく判断を基礎力として身につけ、それを発揮できる力を身につけることができる。
	【2023年度以降カリ対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。【開拓力・企画発想能力】		⇔	経済学または法学が積み上げてきた知識と思考に基づく判断を基礎力として身につけ、それを発揮できる力を身につけることができる。
授業で学べる「テーマ」	地域運営、キャリア			
全学横断特別教育プログラム				
授業の概要	この講義では、企業経営の基本的な理解から始まる。そして企業の行動や構造、発展のメカニズムを明らかにする。講義では、基礎的な概念・知識をレクチャーするとともに、企業活動の動きを調査し、現象を解釈する初歩的な練習問題を解いてもらう。			
授業計画	1 ガイダンス：講義概要と評価の方法 2 第1章：企業経営の全体像：企業を取り巻く市場について知る 3 第2章：経営学の全体像：経済学と経営学の違い、そして経営学の成り立ちを知る 4 第3章：企業と会社：多様な企業形態があることを知る 5 第4章：企業とインプット市場との関わり：有価証券報告書を読む 6 第5章：企業とアウトプット市場との関わり：市場創造をIpodの事例で学ぶ 7 第6章：競争戦略のマネジメント（Part1）：コーヒESHOPの事例を通じて企業競争を学ぶ 8 第7章：競争戦略のマネジメント（Part2）：ポーターの基本戦略を学ぶ 9 第8章：多角化戦略のマネジメント：多角化戦略の種類を学ぶ 10 第9章：国際化のマネジメント：ホンダの事例を通じて国際化のプロセスを学ぶ 11 第10章：マクロ組織論のマネジメント：企業の指揮・命令システムを学ぶ 12 第11・12章：ミクロ組織のマネジメント：キャリア形成について学ぶ 13 教科書外：ビジネスモデルを描いてみる 14 教科書外：企業の社会的責任および社会的企業：ビジネスを通じて社会問題の解決を目指す組織について学ぶ 15 本講義のまとめ：これまでの学習における重要な点についてまとめる（授業アンケートも実施する）			
成績評価の方法	課題50%：経営活動に関する現象を、学んだ理論や知識を用いて説明できるかをはかる（複数回を予定。授業内もしくは宿題として実施してもらう） 期末テスト50%：専門用語を理解しているかをはかる			
成績評価の基準	例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、例題とは異なる難しい応用問題が解ければ「卓越している」			
事前事後学習の内容	毎回、授業前に教科書を熟読し予習をすること。そして学習内容の復習となる課題を課すので指定された方法で提出すること			
履修上の注意				
質問、相談への対応	質問は授業終了後に受け付ける。またメールによっても受け付ける。yoshikazufujino@shinshu-u.ac.jp			
教科書	加護野忠男・吉村典久（2022）『1からの経営学（第3版）』 碩学舎、2400円＋税 ＊第1・2版ではなく最新のものであることに注意すること			
参考書	講義中に適宜紹介する			